

## アスファルト表面の除染

石井慶造<sup>1)</sup>、寺川貴樹<sup>1)</sup>、武田怜<sup>1)</sup>、松山成男<sup>1)</sup>、山崎浩道<sup>2)</sup>、菊池洋平<sup>1)</sup>

東北大学大学院工学研究科<sup>1)</sup>、東北大学サイクロトロン・RIセンター<sup>2)</sup>

## 1. 目的

アスファルト道路の表面にどのように放射性セシウムが付着しているか調べる。

## 2. 方法

福島県から依頼されたアスファルト道路の断面の切片試料をイメージングプレートを用いて調べる。

## 3. 結果（平成24年3月21日発表）

図1にアスファルトの切片の写真（右）とイメージングプレートの画像（左）を示す。

左図に、アスファルトの表面の放射性セシウムから放出されたベータ線がイメージングプレートを照射して感光しているのが分かる。画像の解像度から、ベータ線が発生している深さは、0.1～0.2 mm程度であることがわかる。

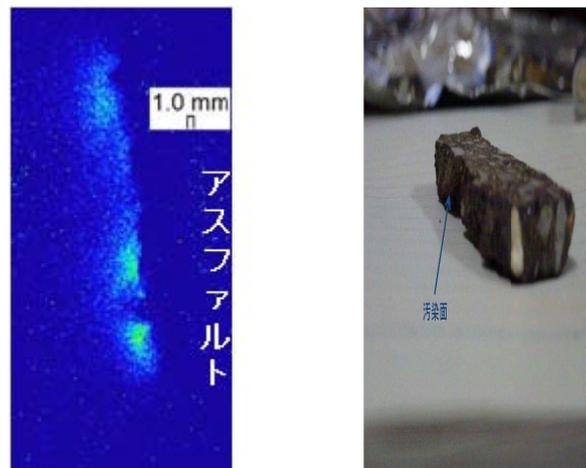


図1 アスファルトのイメージングプレートの画像

作成者：石井慶造